

講道館柔道初段筆記試験問題

<歴史および原理に関する問題>

1. 文中の空欄に適する下記の語句番号を記入してください。

- (1) 講道館柔道の創始者は () 先生である。
(2) 柔道の根本原理を要約して ()、() という。
(3) 柔道の技は、投技、() と各々性質の異なる技術部門をもって構成され、相手の () を利用して、() を不安定にし、「() よく () を () する」原理を力学的に十分応用して行われる。

【①体、②制、③嘉納治五郎、④自他共栄、⑤固技、⑥精力善用、⑦剛、⑧柔、⑨力】

2. 講道館柔道の歴史について、次の文中の(1)～(8)に下記の語句番号を記入してください。

- (1) () 師範が創始した(2) () 柔道は、投技を中心に稽古を行っていた(3) () 流と、抑込技・(4) () ・当身技を中心に稽古を行っていた(5) () 流の柔術をもとに集大成されたものである。

また、師範は、従来の「形」を中心とした稽古の方法から発展させて、(6) () を中心にした稽古の方法を採用し大きな成果を上げることとなった。

- (2) () 柔道は、(7) () 年5月東京下谷の北稻荷町の(8) () 寺においてその産声をあげた。

【①関節技、②嘉納治五郎、③起倒流、④永昌、⑤講道館、⑥天神真楊、⑦乱取り
⑧明治15年】

3. 次の文章は柔道の創始者が柔道修養の目的について述べたものである。下記の語句番号を記入してください。

「柔道は(1) () の力を最も(2) () に使用する道である。

その修養は、(3) () 防御の練習によって身体精神を(4) () 修養し、斯道神髓を体得することである。そうしてこれによって己を完成し、世を補益することが柔道(5) () の究竟の目的である」と述べている。

【①攻撃、②修行、③心身、④有効、⑤鍛練】

4. 次の文は、講道館制定の礼法に関する「趣旨」の一文である。空欄に下記の語句番号を記入してください。

「礼は、人と交わるに当たり、まずその(1) () を尊重し、これに(2) () を表すことに発し、人と人との交流をととのえ、(3) () を保つ道である。

礼法は、この精神をあらわす(4)()であり、(5)()・自他共栄の道を学ぶ柔道人は、内に礼の精神を深め、外に礼法を正しく守ることが肝要である」

【①敬意、②作法、③社会秩序、④精力善用、⑤人格、】

5. 柔道 MIND (まいんど) の説明について述べたものである。空欄に下記の語句番号を記入してください。

(1) M : ()

(2) I : ()

(3) N : ()

(4) D : ()

【①品格、②高潔、③礼節、④自立】

6. 次の文は天神真楊流の伝書の一部である。空欄に下記の語句番号を記入してください。

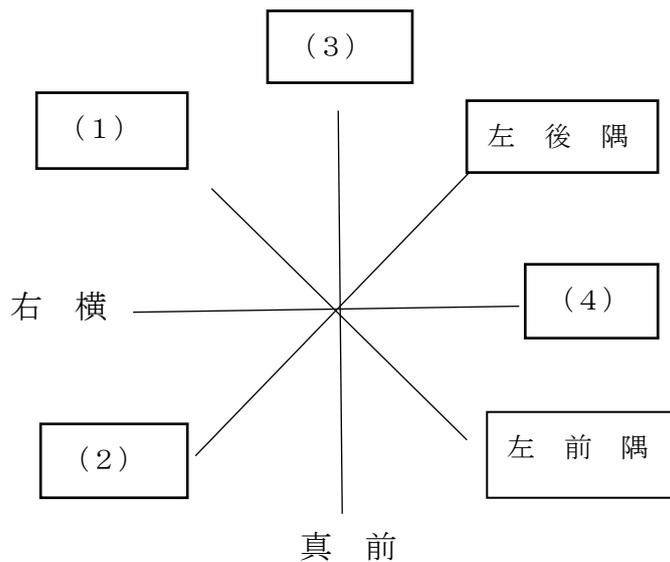
「稽古中に(1)()を強く入れることを嫌うのは、(1)()そのものを嫌うのではない。技が(2)()であって(1)()を入れれば(3)()がこわばって自由を欠き、(4)()を覚えにくくするからである。技が(5)()して自然に出てくる力は、少しも嫌う必要はない。

【①四肢身体、②熟練、③力、④未熟、⑤流儀(技能)】

(注) 天神真楊流とは嘉納治五郎師範が学ばれた柔術。

<技術および分類に関する問題>

7. 次の図は「八方の崩し」である。()内に適する語句を入れて図を完成させてください。



(1) () (2) () (3) () (4) ()

8. 受身の種類を四つ記入してください。

(1) () (2) () (3) () (4) ()

9. 抑込技の名称を三つ記入してください。

(1) () (2) () (3) ()

10. 初段受験の「投の形」9本について手技・腰技・足技の技名を記入してください。

技の分類	技 名		
手 技	浮き落とし		
腰 技		払い腰	
足 技			内 股

11. 自然体と自護体の基本姿勢について記入してください。

	基 本 姿 勢		
自然体	自然本体		左自然体
自護体		右自護体	

12. 基本的な「体さばき」について記入してください。

前さばき、() () () ()

(注)「体さばき」とは、相手を投げやすいよう自分の体勢を移動・回転させること。

<動機・目的・良かったこと・疑問・質問>

13. あなたが柔道を始められた動機・目的を記載してください。また、柔道を習って良かったことを記載してください。

(1) 柔道を始められた動機・目的

(2) 柔道を習って良かったこと

14. 柔道全般について疑問・質問などありましたら記載してください。

講道館柔道初段筆記試験問題（解答）

<歴史および原理に関する問題>

1. 文中の空欄に適する下記の語句番号を記入してください。

- (1) 講道館柔道の創始者は（ ③ ）先生である。
(2) 柔道の根本原理を要約して（ ⑥ ）、（ ④ ）という。
(3) 柔道の技は、投技、（ ⑤ ）と各々性質の異なる技術部門をもって構成され、相手の（ ⑨ ）を利用して、（ ① ）を不安定にし、「（ ⑧ ）よく（ ⑦ ）を（ ② ）する」原理を力学的に十分応用して行われる。

【①体、②制、③嘉納治五郎、④自他共栄、⑤固技、⑥精力善用、⑦剛、⑧柔、⑨力】

2. 講道館柔道の歴史について、次の文中の（1）～（8）に下記の語句番号を記入してください。

（1）（ ② ）師範が創始した（2）（ ⑤ ）柔道は、投技を中心に稽古を行っていた（3）（ ③ ）流と、抑込技・（4）（ ① ）・当身技を中心に稽古を行っていた（5）（ ⑥ ）流の柔術をもとに集大成されたものである。

また、師範は、従来の「形」を中心とした稽古の方法から発展させて、（6）（ ⑦ ）を中心とした稽古の方法を採用し大きな成果を上げることとなった。

（2）（ ⑤ ）柔道は、（7）（ ⑧ ）年5月東京下谷の北稻荷町の（8）（ ④ ）寺においてその産声をあげた。

【①関節技、②嘉納治五郎、③起倒流、④永昌、⑤講道館、⑥天神真楊、⑦乱取り
⑧明治15年】

3. 次の文章は柔道の創始者が柔道修養の目的について述べたものである。下記の語句番号を記入してください。

「柔道は（1）（ ③ ）の力を最も（2）（ ④ ）に使用する道である。

その修養は、（3）（ ① ）防御の練習によって身体精神を（4）（ ⑤ ）修養し、斯道神髓を体得することである。そうしてこれによって己を完成し、世を補益することが柔道（5）（ ② ）の究竟の目的である」と述べている。

【①攻撃、②修行、③心身、④有効、⑤鍛練】

4. 次の文は、講道館制定の礼法に関する「趣旨」の一文である。空欄に下記の語句番号を記入してください。

「礼は、人と交わるに当たり、まずその（1）（ ⑤ ）を尊重し、これに（2）

（ ① ）を表すことに発し、人と人との交流をととのえ、（3）（ ③ ）を保つ道である。

礼法は、この精神をあらわす(4)(②)であり、(5)(④)・自他共栄の道を学ぶ柔道人は、内に礼の精神を深め、外に礼法を正しく守ることが肝要である」

【①敬意、②作法、③社会秩序、④精力善用、⑤人格、】

5. 柔道 MIND (まいんど) の説明について述べたものである。空欄に下記の語句番号を記入してください。

(1) M : (③)

(2) I : (④)

(3) N : (②)

(4) D : (①)

【①品格、②高潔、③礼節、④自立】

6. 次の文は天神真楊流の伝書の一部である。空欄に下記の語句番号を記入してください。

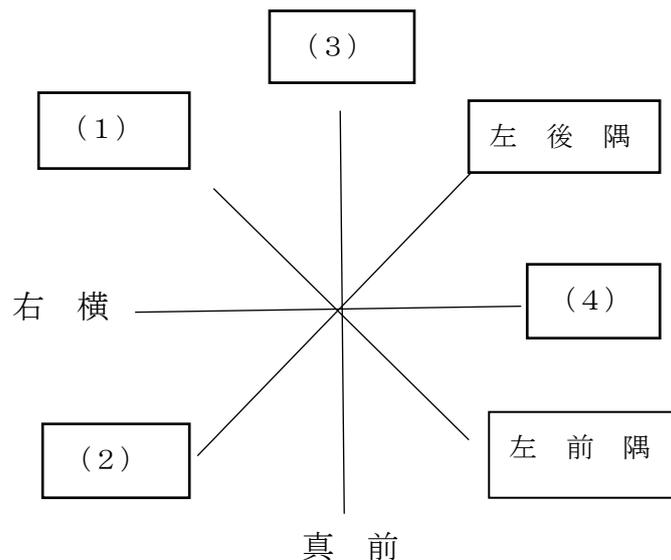
「稽古中に(1)(③)を強く入れることを嫌うのは、(1)(③)そのものを嫌うのではない。技が(2)(④)であって(1)(③)を入れれば(3)(①)がこわばって自由を欠き、(4)(⑤)を覚えにくくするからである。技が(5)(②)して自然に出てくる力は、少しも嫌う必要はない。

【①四肢身体、②熟練、③力、④未熟、⑤流儀(技能)】

(注) 天神真楊流とは嘉納治五郎師範が学ばれた柔術。

<技術および分類に関する問題>

7. 次の図は「八方の崩し」である。() 内に適する語句を入れて図を完成させてください。



(1) (右後隅) (2) (右前隅) (3) (真後) (4) (左横)

8. 受身の種類を四つ記入してください。

(1) (後受身) (2) (横受身) (3) (前受身) (4) (前回り受身)

9. 抑込技の名称を三つ記入してください。

(1) (袈裟固め) (2) (横四方固め) (3) (上四方固め)

その他に縦四方固め、肩固め等がある。

10. 初段受験の「投の形」9本について手技・腰技・足技の技名を記入してください。

技の分類	技 名		
手 技	浮き落とし	一本背負投	肩 車
腰 技	浮 腰	払い腰	釣込腰
足 技	送足払	支釣込足	内 股

11. 自然体と自護体の基本姿勢について記入してください。

	基 本 姿 勢		
自然体	自然本体	右自然体	左自然体
自護体	自護本体	右自護体	左自護体

12. 基本的な「体さばき」について記入してください。

前さばき、(後さばき) (前回りさばき) (後回りさばき)

(注)「体さばき」とは、相手を投げやすいよう自分の体勢を移動・回転させること。

<動機・目的・良かったこと・疑問・質問>

13. あなたが柔道を始められた動機・目的を記載してください。また、柔道を習って良かったことを記載してください。

(1) 柔道を始められた動機・目的

(2) 柔道を習って良かったこと

14. 柔道全般について疑問・質問などありましたら記載してください。